

報道関係者各位
プレスリリース



2019年4月17日
有限会社イナズマ

日本初、近畿大学「産学連携共同プロジェクト」の SF ファンタジー書籍 『「ビースト・ゲート」生命体の 開拓者』を全国書店、ネット書店にて発売



書籍の執筆や大学の講師業を行う有限会社イナズマ(所在地：大阪府吹田市、取締役：米村貴裕)は、株式会社みらいパブリッシング(所在地：東京都杉並区、代表取締役 松崎 義行)から、日本初となる近畿大学(所在地：大阪府東大阪市)との産学連携共同プロジェクト(コラボ)の新刊 SF ファンタジー書籍、『「ビースト・ゲート」生命体の開拓者』を、発売いたしました。

■産学連携共同プロジェクトの背景

有限会社イナズマは、近畿大学からの支援を受けて起業した「初」の当時学生ベンチャー企業で、取締役の米村 貴裕は近畿大学出身。

日本初となる今回の産学連携共同プロジェクトは、米村の著書のファンの方の「近畿大学とコラボしてみたらいいんじゃないか。」という一言がきっかけとなり、2018年10月に始動いたしました。

近畿大学文芸学部の協力のもと、図案や絵柄、特にセクシャルに見られる「手」のポーズや、ドラゴンの「口」の開き方など、細部にわたり産学連携して考案し、教授陣の指導の下、イラストは近畿大学文芸学部の現役学生、井口 晃さん(作家名)に書き下ろしていただきました。

全国で一般化した「ゆるキャラ」ならぬ、「SF ファンタジー小説」のイラストを近畿大学・芸術学科造形芸術専攻の安 起瑩ゼミに依頼し、ゼミ学生が参加することで、産学連携ができ、かつ、学科全体の支援のありかたや進め方、また専門的知識が、双方にとって貴重な経験になるのは間違いありません。

さらに「書籍のこのような珍しいジャンル」を、芸術学科造形芸術学科が本気で担当してくださり、完成へ至ったという前向きな前例を作れました。なお自費出版ではなく「商業出版」での試みであり、快諾してくださった出版社副社長様は、大阪府吹田市在住。

■市場と獨創性



出版市場は不況状態がつづき、たいへん厳しい現状ですが、売れている本やヒットしている本もあります。

出版社さま等との作戦で、一般書店店頭へ、有限会社イナズマの本を並べることは、多くの場合できています。

今後はよりコンテンツとニーズの一致、そして本離れ(国語の衰退、乱れ)、理系離れを止めるべく、内容やデザインに工夫をこらしていくつもりです。

今回の「産学連携プロジェクト」もその一環で、デザイン面に創意工夫をこらし、現在、反応を注視しています。

(※大阪梅田・紀伊国屋書店さまにて)

